

記入日 2021 年 月 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2022 年度本部立候補申請書

立候補者氏名	三俣遥音
立候補する役職	国際渉外部統括理事
大学/学部/学科	昭和薬科大学/薬学部/薬学科
学年	1 年
所属	国際渉外部、交換留学委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2020 年 4 月 日本薬学生連盟入会 国際渉外部所属 2020 年 5 月 交換留学委員会所属
立候補動機	<p>・前任者の推薦</p> <p>・一つ目は、国際渉外部で活動していく中で、よりたくさんの国際医療に興味のある学生に出逢いたいという思いが強くなったことです。連盟に入るまで、自分と同じように国際医療に携わりたいと考えている人は身近に1人もいませんでした。ですが、国際渉外部に入部してから自分と同じ志を持つ先輩方に出会い、自分が持っていなかった意見に触れたことで大変刺激を受け、より一層発展途上国での医療に貢献したい、という自分の夢が強くなりました。そのため、国際医療に携わりたいという思いを抱える国内外の学生と会話がしてみたい、話を聞いてみたいと感じたためです。二つ目は、日本の薬学生が世界を身近に感じられる環境を提供し、同時に自分自身の成長につなげたい、ということです。国際渉外部に入部して、海外の方と現地の英語に触れて初めて会話した時、こんなにも簡単に学生のうちから世界とつながることができるのか、と感動を覚えたことが色濃く記憶に残っています。海外に興味のある学生がこんな経験ができる環境があることを知らずに学部を卒業していってしまうのはもったいないと感じ、現に経験している私がそれを伝えていきたいと思います。そして、海外の方とのイベントや企画の開催を通じて、自分自身の視野の広さや英語でのコミュニケーション力なども養っていききたいと考えています。</p>
問題点と改善案	<p>① 国際渉外部自体の認知度が低く、国際医療や海外に興味のある学生の目に止まりづらい。</p> <p>② 英語を用いるということに対する抵抗感があり、入部に踏み込めず、イベントに参加しづらい。</p> <p>③ 部員の英語力に対する不安を取り除くための体制が整っていない。</p> <p>上に挙げた3つに対する改善案として、</p> <p>① SNS を積極的に活用した活動の発信</p> <p>② 部員同士の英語系企画の開催</p> <p>③ 新歓などのイベントでの呼び込みが重要であると考えました。</p> <p>来年度統括を私が務めることになった場合、国際渉外部の活動を広め、海外の活動に興味がある薬学生の目に止まりやすいような発信を積極的に行いたいと考えております。また、新歓などでも「英語が話せないといけないか」や、「英語が不安」などの声を多く聞くため、部員の英語に対する抵抗感をなくし、英語力の底上げを行うことで、部員が興味のある海外のイベントや企画に参加しやすいような雰囲気作りにも力を入れて取り組みたいです。</p>
活動計画	<p>通年: 英語版報告書の作成</p> <p>上半期: APPS2022Taiwan の広報、参加サポート 講演会開催(予定は未定です。)</p> <p>下半期: 1~3月 日台韓年会 交換参加 年会準備</p> <p>年1回 日台韓合同イベント ※海外の団体との企画はオファーがあり次第検討いたします。</p>



一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 3 丁目 39-12 ウェストビル 1 階

Email: apsjapan@apsjapan.org HP: <https://apsjapan.org>

所信

海外でのオフラインイベントの開催が難しいコロナ禍の中、将来に向けて、海外へ世界を広げたいと考えるや薬学生が自分含め、日本中に数多くいると思います。今年度、私は国際渉外部に入って自分の想像以上の貴重な経験をたくさんしてきました。そのように、国際医療に興味のある学生が自分と同じような経験ができる環境を作り上げていきたいと考えています。

自分は特別英語ができるわけでもコミュニケーションが得意なわけでもありませんが、将来国際医療に携わりたいと考えている中で、自分で行動を起こさなければ絶対に自分も環境も変わることができないと思い、この部署に入部しました。自分は来年度 2 年生ということもあり、本部の皆さんや部員の方々に頼らせていただくことも多々あるかもしれません。ですが与えられたことに対する責任感や努力する力は誰よりも強いと自分自身思っています。

日本にいる海外で活躍したいと考える学生の力になれる、そして学生でも海外の繋がれる、世界を身近に感じることができるような国際渉外部にしていきたいです。